



PDA 東海公立高等学校即興型英語ディベート交流大会 2026

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2026年6月20日(土) 13:00-17:00

会場：オンライン (Zoom)



参加校：6校、8チーム (愛知県立岡崎高等学校、岐阜県立岐阜高等学校、
静岡県立浜松北高等学校、静岡県立清水東高等学校、
三重県立四日市高等学校、奈良県立奈良高等学校(Swing))

参加者：生徒 26名、教員 12名

スタッフ：PDA スタッフ、PDA 認定教育ジャッジ、広島大学、NIC

はじめに、PDA 代表理事の中川智皓より、「これからの AI 時代において、英語や論理的思考力を自分自身の力として身に付けることは、将来の選択肢を広げ、より良く生きていくために極めて重要です。将来的にロボット技術が発展していく社会だからこそ、人と主体的に関わり、豊かな時間を築くための人間らしいコミュニケーション力をぜひこの大会を通じて鍛えてほしいです。」とメッセージが送られました。続いて、PDA ディベート推進委員長の大賀より、「主体的に思考し、仲間と意見を組み立て、相手の主張を踏まえて判断する即興型英語ディベートの学びは極めて重要であり、完璧な英語でなくとも、この経験を将来社会で活躍する力へと繋げてほしい」とエールが送られました。参加校の紹介では、参加する高校生が元気に挨拶しました。ルールの確認では、POI (Point of Information：相手チームに質疑応答を要求するルール) の練習が行われ、「POI!!!」と言いながら片手を頭に乘せてもう片方の手を伸ばす POI のポーズを行いました。



全員で「POI!!!」

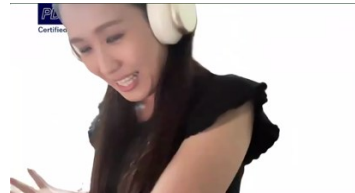
POI の練習が終わると、早速第 1 ラウンドの始まりです。第 1 ラウンドのお題は **“High school students should be allowed to use smartphones during class. (高校では授業中のスマートフォン使用を許可すべきである。)”** でした。肯定側も否定側も、タブレット比較をしながらスマートフォンの良さ・悪さを分析し、生徒への影響について思いを巡らせました。疑問が浮かぶとすかさず POI を行い、質疑応答をする場面も見られました。ディベートが終わると、ディベートの練習方法を共有したり、各学校の学習状況を共有したりしました。



POI!!!



エアー握手



PDA 認定教育ジャッジによるコメント

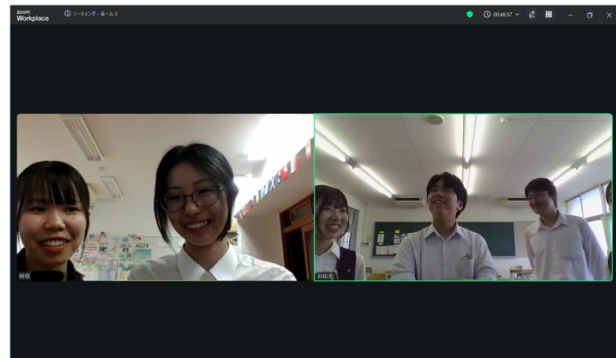
続く第2ラウンドのお題は、“**Social media accounts should require real names. (SNSは实名制にすべきである。)**”でした。肯定側は、匿名投稿による誹謗中傷や性犯罪の危険性を説明し、否定側は、個人が特定されることにより起きる犯罪の可能性やマイノリティーの表現の場としてのSNSの重要性を主張しました。ディベートが終わると、お互いの主張や構成の良さを褒め合い、交流を通して学びを深める様子が見られました。



スピーチの様子



試合後の握手



ジャッジ待ちの交流

そしてジャッジが高く評価した生徒6名によるエキシビジョンディベートが始まりました。論題は“**University admissions should prioritize personal qualities over academic examinations. (大学入試は学力試験よりも人物評価を重視すべきである。)**”でした。大学入試の評価方法による影響を肯定側・否定側それぞれ深く分析をしました。エキシビジョンディベートでもPOIを通して活発な議論となりました。

エキシビジョンディベートの準備時間中には、ジャッジの仕方についてのレクチャーが行われました。エキシビジョンディベートでは、オーディエンスの生徒はフローシートを用いて判定理由を考えながらディベートを観戦しました。オーディエンスの生徒に判定理由を尋ねると、反論やリプライまで踏まえた上での評価ができていました。



エキシビジョンディベート後のエア握手

【表彰】

〈エキシビションディベータ賞〉

- ・ PM 岡崎高校 _____さん
- ・ LO 浜松北高校 _____さん
- ・ MG 岐阜高校 _____さん
- ・ MO 四日市高校 _____さん
- ・ LOR 清水東高校 _____さん
- ・ PMR 清水東高校 _____さん

〈チーム賞〉

- 1位 岐阜高校 Aチーム
- 2位 四日市高校
- 3位 岡崎高校 Aチーム
- 4位 清水東高校 Aチーム
- 5位 浜松北高校

〈ベストディベータ賞〉★は2回選ばれた生徒

- ・ _____さん(四日市)★
- ・ _____さん(岐阜 A)★
- ・ _____さん(岡崎 A)
- ・ _____さん(清水東 A)
- ・ _____さん(清水東 B)
- ・ _____さん(清水東 B)
- ・ _____さん(浜松北)
- ・ _____さん(岡崎 B)

〈POI賞〉

- ・ _____さん(清水東 A)
- ・ _____さん(清水東 B)
- ・ _____さん(四日市)
- ・ _____さん(奈良)
- ・ _____さん(清水東 A)



岐阜高校



エキシビションディベーター



ベストディベーター賞



POI賞

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・様々な英語の表現を知り、多くの意見と出会えて良かったです。また、英語を積極的に話す良い機会になり、話の進め方のアドバイスをもらえたので、活かしていきたいです。（四日市）
- ・たくさんのディベートをすることができたし、他の人のディベートも本当に参考にするべきところが多く、満足度が高かったです。（清水東）
- ・他の高校とディベートする経験が少なかったですが、他の高校生の様々な視点からの考え方を学習して、次に活かそうと思えることができました。（浜松北）
- ・相手から色んな視点が得られて刺激的なディベートでした。（岡崎）
- ・経験豊富な他校の生徒さんの論立ての方法や喋り方を学ぶことができました。参加できて良かったです！（岐阜）
- ・様々な意見に触れることができ、学びが多くとても楽しかった（奈良）
- ・チームメンバーのありがたさを改めて実感しました。他校の方ともディベートができて視野がとて広がりました（岐阜）
- ・ディベート自体とても楽しかったです。初めてエキシビジョンディベートに参加して、改めて周りのディベーターのレベルの高さに驚きました。（清水東）
- ・大会ならではの焦りや緊張感を味わえて、すごくいい経験になりました。（清水東）
- ・様々な高校の生徒さんと関わり、本気で話し合うことができとても楽しかったです！（岡崎）
- ・すごく楽しかった。仲間と協力しながら一致団結して戦えたのがすごくいい経験でした。（四日市）